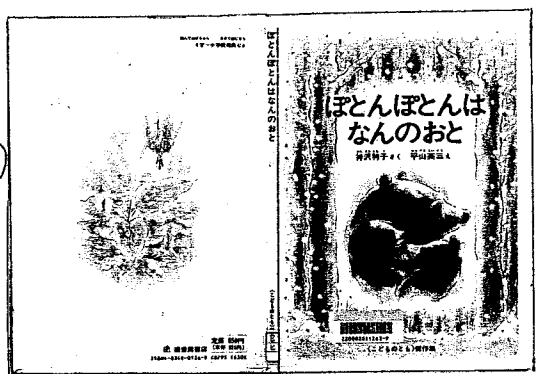


子どもたちといっしょに
 ≪子どものとも≫傑作集

「ぼんぼんはなんのおと」
 神沢利子 著 平山英三 (福音館書店)
 ふゆごもりのあなのなか、くまのかあさんとふたごのぼうやが、そとからきこえてくる音に耳をすませます。春がちかずいてきたある日、ぼうやはたすぬました。「ぼんぼんっておとがするよ。ぼんぼんとんってなんのおと？」かあさんは、こたえます。この後は、ぜひこの絵本を読んでください。



春を待つ絵本は、この他にもたくさんありますが、「つららがぼんぼんとん」(ちいさいかがくのとも2月号)、「ふゆめがらしょうたん」(かがくのとも傑作集)があります。「ふゆめがらしょうたん」には、拙いものですが、苗を付けてみました。ご希望の方は、カウンターまで。学校のおはなし会で、声を合わせて歌うのも、楽しいですよ。
 ※北マカテカクオカオモウトユエカワリシアガタゲタカトメオモウトココオリツキジアラシモナクワ

第28回読書会 参加ください！
 「アリスの見習い物語」(カレン・ジヤマ) (柳井 義孝 著 甲村 佳子 絵)

清水真砂子さんの講演会は大変好評でした。200名来館が目標でしたが、270名余の参加を得ました。皆さん、ありがとうございます。



(あそびの書房)
 2月23日(日)PM11:30~3:30
 於：白根学習館ル-42
 1996年アメリカニューバリー賞受賞作
 14世紀イギリスの小島な村で、生みのびこりに精一杯だった少女が、居場所を見いだし、認められいきます。



2月の行事＊ブックバス

1(土)	お昼会3:00
2(日)	見学のり3:00
3(月)	蔵書点検に伴う休館
17(月)	
19(火)	絵本のじかん3:00
21(木)	☆白根中 13:00~14:00
22(土)	おはなしのついで会10:00
23(日)	おはなし会3:00
23(日)	第28回読書会 1:30
26(水)	絵本のじかん3:00
27(木)	☆大橋小 15:00~15:45 ☆白根北中 16:00~16:40
28(金)	☆白根小 13:00~14:00 ☆小橋小 14:30~15:30

利用者の方からのご意見をいただきました。ありがとうございます。

- ①白根図書館職員の皆様へ。ありがとうございます。一年間、職を探し、毎日が日曜日の暮しの間、図書館を利用していただきました。人生50年の齢を越え、図書館に来たのも、こんなに毎日本を読んだのも初めてでした。その間、健康な心でおられたのは、本と出会い、本から伝わり、くる先人の智慧、心、導きました。図書館は人と健康にしてくれ、素晴らしい仕事です。今後も市民のためにはげんご下さい。一年間のお礼申し上げます。一市民より
- ②カウンターで貸出を受けず、腰口に目下げられ、おぼろげなまま、荷に向けられた人、悪口を言われたいは、おぼろげな気がする。
- ③受検生のために、お正月も開館して欲しい。本日は夜間開館して欲しい。

しろね図書館だより

発行 白根市立図書館 平成15年2月1日
 No. 33

こまだけい いわけ おと まえだ いち (新撰) 前田晋 (3北陸甲信) 朝日新聞社編
 今年、雪の多い冬になりました。2月になると、毎年必ず行わなければならない「蔵書点検」のため、2週間休館します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願い致します。そこで、必ず行わなければならない「蔵書点検」について、この頁の下に記しておきますので、お読みいただければ幸いです。

1月の
 来館者----- 11,109人
 貸出冊数---- 13,014冊
 予約件数--- 163件

12月・1月・2月は、雪が降る時季なので、ブックバスは、お休みさせていただきます。ご不便をおかけいたします。

リクエスト情報(しばらくお待ちください)

- 1位・ハリ・ポッターと炎のゴブレット上(19名) 下(16名)
- 2位・千と千尋の神隠し(15名)
- 3位・ハリ・ポッターと秘密の部屋(7名)
- 4位・誘拐の果実(4名)
- 5位・しまなみエドム想(2名)
- レイケルと魔導師の誓い(2名)

蔵書点検とは、どの図書館でも、年1回は、行わなければならない仕事です。白根市立図書館で所蔵しているすべての資料(本・雑誌・新聞・紙芝居・CD・ビデオ)を点検します。休館しなければ出来ません。ご協力下さい。方法①所蔵している1万1000点余の資料の、1冊々々、1点々々のバーコードをなぞります。これで、この1年の間に、資料が無事に揃っているかどうか、わかります。

- (2)不明本が出たら、1冊々々調べて追求めます。
- (3)痛んでいる資料を介修理したり、タイトルを見やすくしたりします。(これは、日常でもやってますが、やりてくれる、この期間に集中してやります)
- (4)図書館の本は、全部あるべき場所が決まっています。書架のすべてに目を通して確認します。(これは、毎月末日にやっていますが、全てが出来ず、かなり本は迷子になっているので、集中してやりあるべき場所に戻します)

の本を購入しました。ご利用ください。

秋山に先生のための算数教室	全10巻
やさしいかがくの工作	全12巻
調べて学ぶ地球と天気	全10巻
自然の観察事典 第一期	全10巻
自然の観察事典 第二期	全10巻
実用草花図鑑	全4巻
学校のまわりの草木図鑑	全4巻
分解ずかん	全8巻
ニューワイド学研の図鑑 Aセット	全6巻
フィールドベスト図鑑	全10巻
なぜ、不思議ワールド	全6巻

日本の生活100年の記録	全7巻
時代別日本の歴史	全12巻
新、日本各地のくらし	全10巻
調べ学習にやくだつ日本の地理	全10巻
世界なんでも情報誌	全1巻
図解いきいき日本の産業	全10巻
わたしたちのくらしと世界の産業	全8巻
調べよう日本の伝統工業	全7巻
日本の職人さん	全10巻
ふるさとのくらし日本のまちとむら	全12巻
新訂版楽しい修学旅行ガイド	全5巻
世界を歌う国際組曲	全5巻
町のくらしのうつりかわり	全10巻
日本人の20世紀 くらしのうつりかわり	全10巻
日本の伝統芸能はおもしろい	全6巻

シリーズのものの授業	全5巻
シリーズ身をもる	全5巻
心、からだ、生命を考える本	全5巻

発見、体験、日本の食事	全7巻
5つの栄養素、調べて学んでバランスよく食べる	全6巻
米で総合学習、みんなで調べて育てて食べよう	全4巻
食で総合学習、みんなで調べて作って食べよう	全5巻
総合学習、遊んで学ぶ野菜の本	全6巻
調べ学習ガイドブック	全1巻
日本自然探検の旅	全5巻
世界ふくそうの歴史	全5巻

楽しく学ぶ川の学校	全10巻
お米なんでも大百科	全5巻
やさしい図解、地球があふない	全6巻
わたしたちもできるリサイクル	全4巻
環境ことば事典	全4巻
環境と人間	全7巻
くらしの中の化学物質	全6巻
総合的な学習にやくだつ、ここまで来た環境教育	全7巻

図書館版よくつれる超カンタンつり入門 I期	全5巻
図書館版よくつれる超カンタンつり入門 II期	全5巻
絵でわかるジュニアスポーツ	全6巻
いっしょにクッキング	全5巻
はじめての手芸シリーズ	全5巻
パリアフリー、手作り絵の本	全3巻

恐竜の行動とくらし	全8巻
知りたいなりたい職業ガイド Part 4	全6巻
インターネットで総合学習	全5巻
学級でできる飼育と栽培	全10巻
ふれあいの学級飼育	全8巻



『長い冬』上・下巻 ローラ・インガルス・ワイルダー／作 鈴木哲子／訳 岩波書店 (ティーン 9333ワ)

大寒を過ぎ、もうじき立春だというのに、まだまだ寒い日が続いていますね。一晩のうちに町中が白銀の世界に…なんてこともめずらしくありません。今回ご紹介する「長い冬」という物語には、凄まじい吹雪が荒れ狂う長く厳しい冬の日々が描かれています。

ローラたち一家が住む大草原の小さな町は、その年ことのほか厳しい冬を迎えます。

汽車の運行が途絶え孤立した町では、食料も燃料も底をつきてしまった。干し草をよって石炭のかわりにし、小麦の粒をコーヒー挽きで挽いてパンを焼くという苦しい生活を続けながらも、一家は互いを思いやり、力を合わせてこの冬を乗り越えようと励まします。ストーブの周りで震えていても、歌をうたい、心の中の暖かさを頼りに春を待つ、そんな家族の姿に深い感動を覚えます。



この本は「大きな森の小さな家」から始まる「インガルス一家の物語」シリーズの第6作目にあたります。「大きな森…」では主人公ローラは5歳でしたが、ここでは13歳の少女に成長しています。この先の物語では、ローラは働き始め、まもなく結婚して新しい家庭を築いていきます。ローラの手によるこのシリーズは全部で9作ありますが、どれも素朴な魅力にあふれ、読むうちにいつしか物語に引き込まれてしまいます。読み始めると止まらなくなりますよ。シリーズ全部、おすすめします。

「大きな森の小さな家」「大草原の小さな家」「プラム・クリークの土手で」「シルバー・レイクの岸辺で」「農場の少年」=福音館書店発行
「大草原の小さな町」「この楽しい日々」「はじめの四年間」=岩波書店発行(司書・田中幸子)

第二十七回読書会

一月十九日(日) 一時半から三時半

「めざめれば魔女」

マーガレット・マシー作
清水真砂子訳(岩波書店)

年が明けて初めての読書会。7人の魔女???達が読書会に参加しました。では魔女達にそれぞれの感想を聞いてみましょう。

魔女その1 「魔女とか魔法の本を読んだのは初めてだったけど読みやすかった。変わった家とか人がこの物語には出てきて、子どもの頃自分が見た、謎めいた家・人とか、変わった家・人を思い出した。例えば、通るたびにいつも洗濯物を干している家とか。どうしていつもいつも洗濯しているのかなあ?と想像したりして。そういう変わった家とか人を見て想像を膨らませていたことを思い出した」

一同 「うんうん」

魔女その2 「思いがけない言葉やびつたりとする言葉、新しい言葉などがたくさん使われていた。例えば『時が朽ちていくにおい』とか」

魔女その3 「日常に使わない表現よね。これはもともと作者が作った言葉なのか、訳す時に生まれた言葉なのかどっちなんだろう」

魔女その2 「カーモディ・ブラックが悪でローラの弟ジャックが天使のような子という絡み合いがおもしろい。あと男の魔女がいることを始めて知った」

男の魔女???

魔女その3 「ローラが魔女になっていく過程で自分の人生の歩いてきた道を振り返るシーンがあった。自分もあんなふうになんて今の人生で歩いてきた道を振り返ってみたい」

魔女その4 「この本は読みやすく、映画のように映像が頭に浮かんでくる本だった。ローラとソリーの恋の駆け引きにドキドキした」

魔女その5 「初めて読書会に参加しました。おもしろくて、びっくりしました。自分の年齢がローラの母のケートと同じくらいなので、ケートの気持ちになって、読んでいた。ジャックが入院中にケートが恋人のクリスと一晩を共にするシーンがあるのだが、そこが印象に残った。大変な時だからこそ誰かの慰めが欲しかった。子どもに対しては責任があり、避難場所にはならないというところが印象的。私の避難場所はどこかしら?」

一同 思わず笑う

魔女見習い 「魔女とか魔法には昔の話というイメージがあったけれど、この物語は現代の生活の中に魔女がいるので不思議だった」

魔女学園長 「この本は魔法の世界を借りた、女の子の成長の物語。男の子バージョンもあって『足音がやってくる』は男の子の成長の物語。以前は子ども本の世界では、離婚というテーマは取り上げなかった」

「ここで、学園長からマシーのおすすめ本の紹介。

『魔法使いのチョココレット・ケーキ』

『クリスマス魔法の魔術師』

「ゆがめられた記憶」など。清水真砂子さんの訳がおもしろい。

このあと、魔女達はお茶を飲みながら、おしゃべりを楽しんだ。
「みなさん、魔女はいると思いませんか?」
「目には見えないけど心の中にあると思う」
「ううん、ううん」
「すてきな魔女になってくださいわ」

今回は、「アリスの見習い物語」(カレン・クシュマン作)です。お楽しみに!

